

# けんぼれんだよい

公益財団法人  
青森県母子寡婦福祉連合会  
青森市中央3丁目20-30  
県民福祉プラザ3F  
TEL 017-735-4152

## 会長挨拶

公益財団法人青森県母子寡婦福祉連合会会長 秋田谷 洋子

新年あけましておめでとうございます。昨年は創立70周年の記念式典を皆さんと共に祝いすることができましたことを、とても嬉しく思います。これもひとえに日頃からひとり親家庭、寡婦の方々のための活動へのご理解とご協力くださいます方々のおかげと深く感謝を申し上げます。

さて、未だに続く新型コロナウイルス感染症の影響、ウクライナ情勢等による物価高騰、自然災害の猛威など我々の生活はますます厳しくなっていますが、そんな時でもひとり親家庭に救いの手を差し伸べてくれる方はたくさんおります。生活は大変だと思いますが、子どもさんたちとコミュニケーションをとったり、現在の生活を見直したり、今できることをやっていきましょう。青森県母連は皆さんのために存在します。皆さんの切実な声を国に県に各市町村に伝えて参ります。

どうぞ、本年も会員の皆様、関係機関の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 創立70周年記念 青森県母子寡婦福祉大会開催!

令和4年9月10日(土)にホテル青森 孔雀の間にて創立70周年記念青森県母子寡婦福祉大会(第67回青森県母子寡婦福祉大会)を開催しました。  
(詳細2ページ)



## こども塾・はは塾plusぱぱin 70周年記念大会 同時開催

同会場の善知鳥の間では親子ふれあい交流会「こども塾・はは塾 plusぱぱin 70周年記念大会」を開催し、子ども達がボッチャやフライングディスク、ミニ金魚ねぶたづくり、bingo大会をしました。祝賀会でお食事後、バスで宿泊地に移動し、お泊りをして朝食を食べて解散しました。お母さん同士の交流もあり、子ども達の笑顔や元気な笑い声でいっぱいのイベントとなりました。



## 参加者メッセージ

### 【親御さん】

- 子ども同士で遊んだりお話にも参加することができとても貴重な体験ができました
- 子ども達も私も楽しく過ごすことができました
- 母子共々楽しむことができました

### 【子どもたち】心に残ったこと

- お泊りの部屋であそべた
- フライングディスクのタワーにディスクが入った
- みんなと遊べた
- 金魚ねぶたの色ぬりが楽しかった

# 創立70周年記念青森県母子寡婦福祉大会

とき 令和4年9月10日(土)  
ところ ホテル青森 孔雀の間



秋田谷洋子会長



小野寺晃彦 青森市長



大村ミツ副会長



講師 石川敬一牧師

新型コロナウイルスの影響により3年振りに、創立70周年記念青森県母子寡婦福祉大会（第67回青森県母子寡婦福祉大会）を開催することができました。

これまでにご寄付いただいた方々へ感謝状を贈呈し、引間由実子副会長（母子部長）が「母子寡婦福祉会創立と活動の歴史」について発表しました。また、日本キリスト教団弘前西教会・浪岡教会の石川敬一牧師に「素敵なお出会いのために」と題してご講演いただきました。

県内のひとり親及び寡婦等約160名にお集まりいただき、大盛会のうちに終えることができましたことは、多くの方々のご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。



## 会長表彰おめでとうございます！



(右から)  
弘前市 引間由実子会長  
六ヶ所村 米田敏子会長  
板柳町 工藤淑子会長



## 決議事項

ひとり親家庭と寡婦の福祉の向上を図るために次の事項の実現を国及び地方自治体に強く要望します。

1. 二度と再び同じ悲劇が繰り返されないよう、如何なる戦争・紛争にも反対します。
1. 雇用条件の改善のため、より積極的な就業支援策が講じられるよう要望します。
1. 安定した居住の確保、保育所や放課後児童クラブ等への優先入所と利用時間の拡大、利用料金の軽減、日常生活支援事業における利用対象の拡充を要望します。
1. 児童扶養手当の所得制限の緩和及び同居親族の所得要件の緩和を要望します。
1. 教育の無償化制度の充実が図られ、子どもの将来への夢をつなぐことができる施策が講じられるよう要望します。
1. 養育費の公的立替払制度の整備と養育費を支払った親の税の控除を要望します。
1. 自動販売機の設置や売店の運営管理について優先して母子父子寡婦福祉団体に発注されるよう、また、事業主に対して働きかけをされるよう要望します。
1. 自然災害により被災された方々の生活再建のための支援と、長期にわたる避難生活を余儀なくされている子どもや寡婦に対し、心と体のケアなど総合的な支援対策の充実強化を要望します。



『感謝状贈呈 代表』  
青森まちなかおんせん 支配人 高橋様(左) つがる市 荒谷サダ会長  
妙現寺 副住職 秋田様(右)

## <祝賀会>



## 上十三・三八地区 学習・交流会

10月28日(金)  
おいらせ町みなくる館

## 中弘南黒平川地区 学習・交流会

12月8日(木)  
平川市ひらかわドリームアリーナ

約70名が参加し、青森県長寿社会振興センターの健康運動指導士 棟方由美子氏の講演「しゃべって笑って皆で体操！」では楽しく体を動かし、意見交換会では各地区の会長が今後の母子会活動や各会の課題など話し合いました。



約30名が参加し、事例発表や意見交換の後、平川市スポーツ協会平賀体育館施設長の吉川悟史氏を講師にお招きし、ボッチャを体験しました。最後はトーナメント方式で競い、投げて笑って大いに盛り上りました。



# ひとり親家庭等就業・自立支援事業 就業支援講習会

## 【調剤薬局事務(弘前会場)】

M・M様 (弘前市)

コロナウイルスの影響により将来に不安を感じ、転職を考えるようになりました。何の資格も持っていないかったため、就業支援講習会の事を知った時に受けてみたいと思いました。ですがなかなか一歩を踏み出す事ができず、子ども達に相談したところ「やってみたいと思った時にやるべきだ」と背中を押され、申し込むことを決めました。

正直、講習が始まってからも不安しかなく、ついていくのに精一杯でしたが先生の丁寧なご指導により『調剤報酬請求事務技能』の資格を取得することができました。過ぎてみれば講習を受講した1ヶ月はあっという間で、他の受講生の方々とも短い間でしたが同じ時間を過ごした事で自分も頑張ろうと前向きな気持ちになれました。今回



このような機会を与えてくださった事に感謝しています。本当にありがとうございました。

## 第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会



9月3日(土)、4日(日)に札幌市定山渓万世閣「ホテルミリオーネ」において開催されました。北海道・東北各地から約300名が参加し、研修討議では児童扶養手当の受給延長や修学支援制度の拡充、子ども食堂を通した母子会活動などが話し合われ、同日に行われた母子部長会議の活動報告を引間由実子母子部長が発表しました。交流会では当連合会の秋田谷会長が詩吟を披露し、ようやく開催できることを喜び合いました。



## 【パソコン個別指導(八戸会場)】

中村 稔子様 (八戸市)

新型コロナウイルスの影響により生活がガラッと変わり、飲食店で働いていた私は収入が不安定になりました。事務職に転職しようと思いハローワークに通い数件に応募したのですが、どの会社にも面接さえしてもらえませんでした。

簿記3級の資格だけでは弱いと思ってパソコン講習を受ける事にしました。パソコンは初心者でしたが、通う度にわからなかった事がどんどんわかるようになっていく事が嬉しくて楽しかったです。また、その日に覚えた事を家に帰って子供に教える事も出来たので凄くやりがいがありました。そして、最終的にはワープロ検定3級に合格することができました。

私は講習を通して、勇気を出して学ぶ事の大切さを知りました。これからも学びを続け就活に生かしていきたいと思います。このような機会を作って下さった県母連の皆様、パソコン学院の皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。



# 夢を応援基金



この奨学金は全国母子寡婦福祉団体協議会とローソングループが力を合せ、ひとり親家庭のお子さんを応援する給付型奨学金です。全国400名の募集に対し、青森県では今年度5名のお子さんが奨学生に決定しました。

R5年度は**2月17日から**募集開始です。月額3万円(返済不要)。詳細は全母子協または当連合会のHPをご覧ください。

また3月から各ローソン店舗のLoppiから募金ができますのでご協力をお願いいたします。

## ふれあい広場(子ども食堂)やってます

<親子でトライ!トライフル>  
カステラやヨーグルト、フルーツやホイップクリームを切ったり飾り付けしました。

<みそ玉で簡単みそ汁>  
大谷先生から大豆のお話やクイズを出題。  
それから皆でみそ玉をつくりました。

<お絵かきクッキー>  
ホットケーキミックスを使ってクッキーを作りチョコペンでデコレーション。

ふれあい広場(子ども食堂)は、連合会と青森市母子寡婦福祉会との共催により毎月1回開催しています。

栄養士の大谷享子先生、成田茂子先生、長尾律子先生に月替わりのレシピと調理指導をいただき、また、寡婦の方々が心を込めて調理から盛り付けをしてくださっています。学習支援ボランティアの大学生も一緒に子ども達と配膳や後片付けをお手伝いしてくれ、皆で一緒に楽しく活動しています。

ご寄付いただいた食材を活用させていただくこともあります。

今年度は3回、食事の後にお菓子づくりなどを開催しました。

3



# おすそわけひろがる



THANK  
YOU



県母連では、ひとり親家庭の窮状や連合会の活動にご理解くださっている、たくさんのお寺様、企業様、団体様、個人の方々からご寄付をいただいております。いただいたご寄付は県内のひとり親家庭の会員宅へお届けしたりふれあい広場（子ども食堂）やおすそわけの送料等の運営費として活用させていただいております。



青森まちなかおんせん様

## あいがとうの声

- ・お米を頂きありがとうございます。男の子は、お米をたくさん食べるのでとても助かります。
- ・値上げが続く中、このおすそわけがどれ程助かるか、感謝しかありません。
- ・どれも子供が好きなもので「これ好き」「これ明日食べるね」と喜んでいました。
- ・苦しいことがあった時にちょうど届きます。涙が出てきます。みえているのかな。わたしにとって『応援箱』です。



## ご寄付いただいた皆様

青森かもめライオンズクラブ様  
日本労働組合総連合会青森県連合会様  
株式会社マルハン浜田店様  
青森市民病院様  
The企画エルサーチ株式会社様  
法華寺様(青森市)  
大安寺様(むつ市)  
瑞泉寺様(三沢市)  
妙現寺様(八戸市)  
他、県内外の企業・個人の方々

令和5年度 事業予定	11月18日(土)・19日(日)	令和5年度 全国母子寡婦福祉研修大会	長崎県佐世保市 アルカスSASEBO
	9月2日(土)・3日(日)	第67回 東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会	秋田県秋田市
	9月7日(木)	第68回 青森県母子寡婦福祉大会 ★ 多数の方々のご参加をお願いいたします ★	つがる市 生涯学習交流センター松の館

## 市町村母子寡婦福祉会会員・クルー会員募集中

青森県内22市町村にある母子寡婦福祉会では会員を随时募集しています。お住いの市町村に母子寡婦福祉会が無い方は県母連のクルー会員になります。各地域の会で行事などを通して交流しながら、皆さんのが声を地方行政や国にお願いする活動を続けています。入会希望やお問い合わせは県母連へお気軽に電話ください。

※ホームページの「市町村母子会」「クルー会員入会について」をご覧ください。

※年会費などは市町村母子寡婦福祉会によって違います。



## ご活用ください！ けんぼれんの事業

離婚前後のことや、誰かに話を聞いてほしい、子どもの預かり先や就職・転職のことなどご相談ください。

法律相談

心の相談

就業相談

日常生活支援事業(生活援助・子育て支援)

### 相談時間

月・水・金 8:30~17:15

火・木 8:30~20:00

第2・4日 10:00~15:00

(祝日・年末年始を除く)



TEL 017-774-3780

青森市中央3-20-30

県民福祉プラザ3F

あおもりけんぼれん



<https://aomori-kenboren.jimdofree.com>



LINE  
友だち募集中  
コチラから→



「親子ふれあい交流会」「ふれあい広場（子ども食堂）」「おすそわけ」の事業には共同募金会の助成金が使われています

